

入学時に日商簿記検定 2 級をすでに取得している新入生諸君へ

甲南大学経営学部

経営学部には、やる気のある学生を対象にした特別プログラムとして、ビジネス・リーダー養成プログラムが設置されています。通常、希望する学生は、選考を受け、2 年生進級時からこれに所属することになります。

下で説明している、アカウンティング・プラクティス・コース(以下 AP コース)に関しては、入学時に日商簿記検定 2 級をすでに取得している新入生にのみ、1 年次からの所属を認め、日商簿記検定 1 級等を念頭に置いた上級生対象の開講科目の受講を特別に認めています。

詳細は説明会で説明しますので、AP コースへの所属を考える有資格の新入生は、必ず出席するようにして下さい。

**AP コース説明会(1 年生) 4 月 2 日(木)11 時 10 分～
3-31 教室(3 号館 3 階)**

なお、所属を決定した学生に対しては、下記の日時・場所に再度集まって履修登録の手続きを進めますので、出席してください。

【時間】 4 月 3 日 (金) 12時30分～ (1時間程度)

【場所】 9号館1階

AP コースの概要(『履修要項 2026』の抜粋)

ビジネス・リーダー要請プログラムと AP コース(『履修要項 2026』P.248)

ビジネス・リーダー養成プログラムについて

本プログラムは、経営学、会計学および商学の 3 分野の専門的知識を習得したうえで、より高度な学習を行いたいとの意欲を持った学生のために設置されている。ビジネス・プロフェッション・コース (BP コース)、グローバル・ビジネス・コース (GB コース)、アカウンティング・プラクティス・コース (AP コース) の 3 コースからなるが、その概要は以下のとおりである。

アカウンティング・プラクティス・コース (AP コース)

より実務志向的な、または、資格を目指した簿記関連科目、キャリア創生共通科目を履修し、会計実務の即戦力となることを目指す。日商簿記検定 2 級に単に合格するだけでなく、その内容を完全に自分のものとするを最低限の目標とする。これを前提に各種資格試験合格のための基礎をかためる。

AP コースの科目表(『履修要項 2026』P.247)

A P コ ー ス 科 目	AP アカウンティング・プラクティスⅠ	4	2
	AP アカウンティング・プラクティスⅡ	4	2
	AP アカウンティング・プラクティスⅢ	2	2
	AP アカウンティング・プラクティス演習Ⅰ	2	2
	AP アカウンティング・プラクティス演習Ⅱ	2	2
	A P 経営コンサルティング論	2	3
	上級簿記Ⅰ	2	2
	上級簿記Ⅱ	2	2
	上級財務諸表論Ⅰ	2	2
	上級財務諸表論Ⅱ	2	2
	上級工業簿記	2	2
	上級原価計算	2	2
	入門パーソナルファイナンス	2	2
	応用パーソナルファイナンス	2	2

卒業要件と AP コース修了要件(『履修要項 2026』P.251)

1. 本プログラムに所属する学生の卒業のために必要な単位数や、卒業必要単位に算入できる専門教育科目以外の科目などは一般の学生と同様である。←

2. プログラムの修了要件←

本プログラムに参加し、その趣旨に見合った成果を残した学生を、「プログラム修了生」とする。プログラムを修了するためには、以下の要件を満たしている必要がある。←

(3) アカウンティング・プラクティス・コース (AP コース) ←

①「A P アカウンティング・プラクティスⅠ」、「A P アカウンティング・プラクティス演習Ⅰ」、「A P アカウンティング・プラクティスⅡ」、「A P アカウンティング・プラクティス演習Ⅱ」は必修。←

②その他の AP コース科目を 10 単位以上修得していること。←

③日商簿記検定 2 級以上に合格していること。←

※例外的に、日商簿記検定 2 級合格後 AP コースに所属した学生（入学時、2 年次進級時所属の両方を含む）に関しては、②の条件を満たすのみで修了と認める。また、日商簿記検定 1 級合格、税理士試験の科目合格、公認会計士試験の短答式試験合格、いずれかの場合は、そのことのみをもって修了と認める

(①から③の条件は課さない)。←